令和3年度 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価及び検証 (令和2年度実績)

令和4年3月 宮古市

目 次

Ι	趣旨	•••••	3
П	第2期宮古	市まち・ひと・しごと創生総合戦	戦略の進捗状況に対する評価 ・・・ 3
1	令和2年度	実績評価総括表	4
2	数値目標・	重要業績評価指標(KPI)一	覧 5
3	基本目標別	川の評価及び検証	
I	■まち	•••••	8
I	■ひと	•••••	14
ı	しごと		20

I 趣旨

国は少子高齢化に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口 集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、活力ある社会を維持す るための方策について、基本理念、国等の責務、計画の策定等を定めた「まち・ひ と・しごと創生法」を平成26年に制定しました。

これを受け本市においても「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第 1期総合戦略」という。)」を平成28年2月に策定し、各施策に取り組んできま した。令和2年3月には、宮古市総合計画の基本計画の中に包括する形で第2期総 合戦略を策定しました。

総合戦略については、PDCAサイクルの考え方に基づき検証を行い推進することとしています。宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員の皆様、宮古市議会議員の皆様から意見提言等を頂戴しながら評価及び検証を実施し、必要に応じて事業等の見直しを行うこととしております。

Ⅱ 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に対する評価

第2期総合戦略の基本目標(数値目標)及び重要業績評価指標(KPI)の実績に対しての評価方法は、以下のとおりです。

なお、実績値について、統計の公表時期などの関係で把握できないものは直近の 数値としました。

■進捗度による評価

- ・策定時の現状値を0%、R6目標値を100%とする。
- ・第2期総合戦略では、R2年度からR6年度の5か年で目標達成を目指すことから、R2年度の進捗度の目安は、20%とする。(考え方: 100%/R2~R6の5か年)

<年度毎の進捗度目安>

R2年度 20% R3年度 40% R4年度 60% R5年度 80% R6年度 100%

■進捗度算出の計算式

(R2実績値-策定時の現状値)/(R6目標値-策定時の現状値) ×100

■評価の表示(進捗度をABCDで表示)

A··· 目標達成

B··· 進捗度20%以上100%未満

C··· 進捗度0%以上20%未満

D・・・ 進捗度0%未満(マイナス値)

1 令和2年度実績評価総括表

其 木曰堙			評価			・ 	
基本目標	Α	В	С	D	評価困難	合計数	
■まち 「地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる	0	3	2	6	0	11	
環境をつくる」							
■ひと							
「子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・ 子育ての希望をかなえる」	1	0	2	5	0	8	
■しごと							
「地域に根差した産業を振興し、生活を支える所得が 得られる仕事を創出する」	0	1	2	6	3	12	
合計	1	4	6	17	3	31	

【評価の解説】

・計画期間が5か年であることから、R2年度の進捗率の目安を20%とする。(100%/5か年)

A・・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

2 数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧

■まち

基本目標	数值目標	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環	社会減数(人)	△ 606	△ 622	△ 2.6%	D	0
境をつくる	定住意向割合(%)	73.7 895/1185(人)	75.7 500/660(人)	31.7%	В	80.0

(1)住み続けたいまちづくり戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2集	ミ績	進捗率		評価	目標(R	R6)
①安全で快適に暮らせる生活基盤の確保	基盤整備に対する市民満足度(点)		42.2		45.3	17.	4%	С		60.0
少女主に	福祉・健康に対する市民満足度(点)		43.6		45.7	12.	8%	С		60.0
	市が関わった中心市街地への新規創業者数(件)		2		8	46.	2%	В		15
②まちの中心のにぎわい創出	中心市街地での歩行者交通量(末広町線)(人)	休日 平日	492 597	休日 平日	258 501	△ 177. △ 67.		D D	休日 平日	624 739

(2)ひととつながるまちの魅力発信戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
①森・川・海の魅力を活かした観光の振興	観光入込客数(年間)(万人)	143	112	△ 442.9%	D	150
①林・川・(時の) <u>M.</u> 月で石かした観光の振興	市内宿泊者数(年間)(万人)	28	17	△ 550.0%	D	30
②住めばみやこ住むなら宮古の推進	宮古市に関係する移住・定住イベントや支援策により移 住した人数(累計:人)	1	9	27.6%	В	30
◎性のはみや○性でなり呂古の推進	移住定住相談会参加者数(年間:人) 【宮古市ブース来訪者】	13	4	△ 52.9%	D	30

2 数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧

■ひと

基本目標	数値目標	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子	25-39歳人口の未婚率(%)	(H27国勢調査) 42	(R2国勢調査) 45	△ 160.0%	D	37
育ての希望をかなえる	子育て環境の満足度(点)	45.1	46.2	7.4%	С	60.0

(1)結婚・出産・子育ての希望をかなえる戦略

具体的な施策	KPI	策定時	(H30)	R2	2実績	進捗率	評価	目標(R6)
	25-39歳までの女性人口(各年10月1日住民基本台帳人口)(人)	(H29)	3,386	(R1)	3,016	目標△186に 対し、△370	D	(R5)	3,200
①出会い・結婚・出産・子育て支援の展開	合計特殊出生率(%) 【上段 岩手県保健統計(注1)】	(H29)	1.62	(R1)	1.55	△ 58.3%	D	(R5)	1.74
	【下段 参考値:厚労省統計(注2)】 注1:每年公表 注2:5年每に公表	(H20∼H	24(H26)) 1.58	(H25∼F	129(H31)) 1.59	-	_		_
	待機児童数(各年3月現在)(人)		2		0	100.0%	А		0
②働きながら子育てしやすいまちづくり	仕事や地域活動などでの女性の活動のしやすさの市 民満足度(10~40代平均)(点)		47.1		46.3	△ 6.2%	D		60.0

(2)郷土を愛し、拓く人づくり戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
①未来へつなぐひとづくりの推進	生涯学習環境に対する市民満足度(10〜40代平均) (点)	47.8	50.1	18.9%	С	60.0
①未未へりなくびとりへりの推進	高校2年生の宮古市への愛着度(%)	(R1) 43.0 166/386(人)	(R2) 42.7 141/330(人)	△ 1.8%	D	60.0

2 数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧

■しごと

基本目標	数值目標	策定時(H30) R2実績		進捗率	評価	目標(R6)
地域に根差した産業を振興し、生活を支える所得が得 られる仕事を創出する	市民一人当たりの分配所得(万円)	(H29) 市 277 県 277 国 319 国の値に 対する比率 86.8%	(H30) 市 274 県 284 国 320 国の値に 対する比率 85.6%	△ 9.2%	D	国民所得
	高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率(%)	44.0 93/210(人)	48.9 86/176(人)	18.8%	С	70.0

(1)本州最東端から国内外に向けた産業振興戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
	魚市場水揚額(年間)(百万円)	6,452	4,888	△ 81.1%	D	8,380
①強い水産業の推進	魚市場水揚量(年間)(t)	23,540	21,683	△ 11.9%	D	39,100
	1経営体あたりの漁業生産額(百万円)	7.9 5,469/696体	(次回は、 R6年度に公表)	_	現時点で 評価困難	8.7 6,071/696体
	製造業総生産額(年間)(百万円)	18,900	18,000	△ 81.8%	D	20,000
②異業種連携による売れる商品づくりの推進	市が支援する商品等の新規成約件数(年間)(件) ※加工品コンクール等の商品とする	4	コロナ禍により 実施なし	_	現時点で 評価困難	5

(2)すべての人が活躍できる産業戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗率	評価	目標(R6)
①地域の特色を活かし稼げる産業の実現	従業者1人当たりの売上金額(百万円)	(H28) 15.3 91,165/5,965人	(次回は、 R5年度に公表)	_	現時点で 評価困難	16.2
	再生可能エネルギー導入容量(年間)(kw)	22,616	79,032	25.5%	В	244,000
		8 【内訳】	18	19.2%	С	60
②人材の確保·育成支援	一次産業新規就業者(累計)(人)	(農業) 2 (林業) 1 (水産業) 5	4 3 11	15.4% 14.3% 24.0%		15 15 30
	宮古公共職業安定所における就職率(年間)(%)	51.1 2,183/4,275件	45.5 1,694/3,727件	△ 62.9%	D	60.0
	就業者数(雇用保険被保険者数)(年間)(人)	18,622	18,074	△ 96.0%	D	18,600

基本目標:【まち】

地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくる

基本目標に対する評価

数値目標	策定時(H30)	R2実績	進捗度	評価	目標(R6)
社会減数(人)	△ 606	△ 622	△ 2.6%	D	0
定住意向割合(%)	73.7 895/1185 (人)	75.7 500/660(人)	31. 7%	В	80.0

※ 社会減とは、地域の人口が、他地域からの転入、あるいは他地域への転出によって生じる増減のうち、減少を指す。

評価: A···目標達成 B···20%以上100%未満 C···0%以上20%未満 D···0%未満(マイナス値)

分析

数値目標である社会減数の抑制には至っていないが、定住意向割合は増加となった。

基盤整備(交通ネットワークの整備や防災体制等)は順調に進んでおり、それに併せて「基盤整備に対する市民満足度」も上昇した。福祉・健康に係る取り組みについては、コロナ禍の影響を受け、進捗が滞ったものがみられたが、「福祉・健康に対する市民満足度」は上昇した。取り組みに制限がある中で満足度が上昇したことから、市民に対する各種取り組みの認知度の向上が満足度の上昇に繋がったと推察される。

また、観光及び移住関連の取り組みは、コロナ禍の影響を大きく受けた。県境を越えた移動に制限がある中、都市部住民等はインターネット上の情報を収集する、通信販売により地方の物産を取り寄せるなどの行動変容が起きている。この状況下において、観光文化交流協会や市の移住者向けHPのコンテンツの充実を図ったことで、アクセス数を大幅に増加させることができた。

これらを踏まえ、今後は、当市の取り組みや観光等の情報を市内外に発信していくことが必要であると考える。

【市民推進委員会からの意見】

・数値の減少理由が、本当にコロナだけなのかより深く見極める必要がある。

(1) 住み続けたいまちづくり戦略

①安全で快適に暮らせる生活基盤の確保

KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗度	評価	目標(R6)
基盤整備に対する市民満足度(点)	42. 2	45.3	17. 4%	С	60.0
福祉・健康に対する市民満足度(点)	43.6	45. 7	12.8%	С	60.0

評価: A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

◎ 関連基本事業の進捗状況

♥										
基盤整何	#に関する基本	事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6			
	三陸鉄道の市民 1人当たりの年	目標値	2.5	2.8	3.2	3.5	3.9	4. 2		
		実績値	3.0	3.8						
	JR山田線の市民 1人当たりの年	目標値	1.6	1.6	1.7	1.7	1.8	1.8		
	間利用回数	実績値	0.9	0.6						
a)鉄道の確保・充実と利用促進	【取組内容と評価】 三陸鉄道及びJR山田線の支援、施設整備、沿線市町村や地域住民と連 した利用促進を実施。コロナ禍の影響により利用者が低迷しているものの 三陸鉄道の利用回数は目標値を上回った。									
	【議会からの意見 ・三鉄については 設定が低いと感	、実績値					•	4		
							の対比で、JRだけが らない。(定時運行、タ			
	・鉄道利用に対するコロナ禍の影響はあったと思うが、それ以前から鉄道用は低調だったので、コロナの影響を加味しない根本的な評価や分析もだと考える。									

T									
路線バスの市民1	目標値	17.6	17.9	18.1	18.4	18.7	20.2		
人当たりの年間 利用回数	実績値	17.5	13.3						
運行経費への関	助成や路流								
【議会からの意見】 ・路線ルートの見直しの評価・分析をより具体的に行うべき。									
新たな公共交通	目標値	1.0	2.0	3.0	4.0	4.0	4.0		
手法を活用した 地域数	実績値	1.0	2.0						
公共交通を利用 ニティバスの導力	用しにくい しなど新た								
・令和6年度に活	用地域数								
・公共交通網形成 る。	成計画に	支映され	ていない	区域につ	いても検	き証が必ら	要であ		
避難誘導標識整	目標値	90	95	95	96	97	100		
備率(%) 	実績値	91.67	99.36						
情報発信ツール	目標値	8	9	10	10	10	10		
の充実(種類)	実績値	9	10						
的確で円滑なる 確な情報提供の	壁難誘導 ため、SN	IS等の活							
自主防災組織の	目標値	56.0	62.0	68.0	74.0	80.0	86.9		
カバー率(%)	実績値	51.5	50.2						
防災十の人数	目標値	331	365	415	445	475	500		
(人)	実績値	331	393						
災害時において 取り組んでいる。 地域への働きかり 【議会からの意見・現在、自主防災 が、実績値を高め	で地域で 自主防災 けが必要 L L 組織をは かるための	と組織に、 。防災士 にじめとす の「働きか	ついては について る町内浴 け」につ	、目標値は、目標 は、目標 動は、高いてより	を下回っき 値を大き が が が が が が が が が が が が が が が り の う ろ う が う り の う が う り の う が う が う が う が う が う が う が う が う が う	ており、引 く上回っ 中心とな・ 析が必要	き続き た。 		
	「大型型型では、大型型型では、大型型型型では、大型型型型では、大型型型型では、大型型型型では、大型型型型では、大型型型型では、大型型型では、大型では、大	大当たり回数 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 取組行携したののの ののの のののののののののののののののののののののののののの	大当たりの年間 表積値 17.5	大当たりの年間 実績値 17.5 13.3 13.	大当たりの年間 実績値	大当たりの年間 表積値	大当たりの年間 表積値		

福祉・健康に関する基本事業										
基本事業	指標名	R2	R3	R4	R5	R6				
	全直営診療所	目標値	100	100	100	100	100	100		
。) 医糖体制の充字	の年間稼働率 (%) 実績値 100 100									
a)医療体制の充実	【取組内容と評価 市民が安心して 里・川井)を運営	医療を受						田老·新		

	住民同士のつながりが広がる場	目標値	1	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	
	や機会や身近に ある環境に対す る市民の満足度	実績値		43.8					
b) 福祉ネットワークづくりの推進	【取組内容と評価】 避難行動要支援者への支援など、様々な福祉課題の解決につなげるため 地域活動の推進している。目標値には達していないことから、地域住民、町 自治組織、学校等のネットワークの構築を図るなど、住民同士のつながりの 出を目指した取り組みが必要。								
	介護予防教室参	目標値	1,950	2,050	1,900	2,000	2,100	2,100	
c)自立した暮らしを継続する支援	加者数(人)	実績値	2,009	586					
	【取組内容と評価 今まで参加者数 り事業中止や一ト コロナウイルス感 ことが必要。	女が順調に 時停止を	余儀なく	され、目	票を大き	く下回った	た。今後に	よ、新型	
	子育て支援拠点 事業年間利用組	目標値	9,500	9,500	9,500	10,000	10,000	10,000	
	数(組)	実績値	9, 272	3, 943					
	ファミリーサ ポートセンター	目標値	400	360	360	360	360	360	
d) 子育て支援体制の充実	依頼会員数 (人)	実績値	363	348					
	【取組内容と評価 子育て家庭向いの拠点を運営。こ 方、ファミリーサッ おいても子育でま サービスであるこ	ナの相談 1ロナ禍の ポートセン 家庭を支)影響に。 クーの依 後できる	より支援! な頼会員! サービス	処点の利 数は、微液 であった	用者が大 咸に留ま・ こと、ニー	に幅に減っ った。コロ -ズに合っ	った。一 け禍に	

②まちの中心のにぎわい創出

	KPI	策定時	(H30)	R2実績		進捗度	評価	目標	(R6)
市が関 創業者	りった中心市街地への新規 数(件)		2		8	46. 2%	В		15
	封地での歩行者交通量(末	休日	492	休日	258	△ 177.3%	D	休日	624
広町線)) (人)	平日	597	平日	501	△ 67.6%	D	平日	739

評価: A····目標達成 B····20%以上100%未満 C····0%以上20%未満 D····0%未満 (マイナス値)

◎ 別達益本事未に対する計画								
中心市街	地に関する基本	業						
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
	整備計画に対	目標値	0.0	25.0	50.0	75.0	100.0	100.0
。) 十学十六四%自知病病+}儿。の あ/共	する整備率 (%)	実績値	-	6.3				
a) 市道末広町線無電柱化の整備	【取組内容と評価 R2年度に着手 かった。今後、R5	したもの						
	呂古巾役所庁吉	目標値	35.0	100.0				完了
		実績値	35.0	80.0				
	基盤整備に対す る市民満足度	目標値	1	42.2	42.2	42.2	42.2	60.0
b) 宮古市役所庁舎跡地の整備	(点)	実績値	1	45.3				
	【取組内容と評価 庁舎跡地につい て整備。令和3年 完成した公園の 育て世代等の満	・ては、当 7月31日 0利用者 <i>0</i>	にうみと D増加と、	り公園と 、今後の	:して開園 末広町の	した。		

	商工会議所会員数 (卸・小売・サービス	目標値	750	750	750	750	750	750
c)魅力ある商業活動の推進	11163 () 3	実績値	731	760				
	中心市街地への 新規創業者数	目標値	15	15	15	15	15	15
c)魅力ある商業活動の推進	(件)	実績値	5	8				
	【取組内容と評価事業所の経営 新規創業者に対 たものの、新規創	支援を目 する情報	提供と創	業支援も	も実施。 会			

①森・川・海の魅力を活かした観光の振興

KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗度	評価	目標(R6)
観光入込客数(年間)(万人)	143	112	△ 442.9%	D	150
市内宿泊者数(年間)(万人)	28	17	△ 550.0%	D	30

評価: A····目標達成 B····20%以上100%未満 C····0%以上20%未満 D····0%未満 (マイナス値)

観	光に関する基本事	業								
基本事業	指標名	i	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
	来訪者満足度	目標値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0		
	(%)	実績値	80.1	71.0						
a) 受入体制の整備	浄土ヶ浜地区の 施。R2年度は、	【取組内容と評価】 浄土ヶ浜地区の環境保全や学ぶ防災、観光関連施設の利用促進等を実施。R2年度は、目標値を下回った。コロナ禍で外出等の自粛が求められた、とから、満足度が下がったものと思われる。								
	浄土ヶ浜入込	目標値	69.7	71.1	71.8	72.5	73.9	73.9		
	数(万人)	実績値	107.6	52.4						
b) 地域観光資源の活用	【取組内容と評価 観光客誘致を のく潮風トレイル 知等を実施。R2	目的とする	どを活用	した体験	型観光ス	プログラム	に開発	及び周		
	宮古観光文化 交流協会 H P	目標値	74, 598	78, 700	82,600	86,800	91,000	95, 000		
)情報の発信	アクセス数(件)	実績値	164, 341	552,896						
	も連携。R2年度 販売を開始。全間 泊割」の実施によ	国放送の	テレビ番	組等でも	取り上げ					
	学ぶ防災来訪	目標値	18,894	19,082	19, 272	19,461	19,650	19, 839		
	者数(人)	実績値	20,625	7,670						
d)災害教訓の伝承・情報発信	【取組内容と評価 津波遺構たろうは、コロナ禍の影	う観光ホラ				の取組を	実施。R2	 2年度		
	誘致企業数	目標値	1	1	1	1	1	1		
	(件)	実績値	0	0						
	客船寄港回数	目標値	5	8	6	6	8	8		
	(回)	実績値	5	0						
e)港湾の活用	【取組内容と評価 港湾利用の促生 てポートフォーラ R2年度はコロナ 内企業が中心の 今後は、道路網 ントに、庁内関係	進と企業(ム」におい ・禍の影響 訪問とな の整備に。	ヽて藤原ん 響により多 った。 よりアクセ	ふ頭工業 その企業 セスと利係	用地のP を訪問で 更性が向	Rを実施 することだ 上したこ	i。 バできず、 とをセーノ	また県		

②住めばみやこ住むなら宮古の推進

KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗度	評価	目標(R6)
宮古市に関係する移住・定住イベントや支援策により移住した人数 (累計:人)	1	9	27. 6%	В	30
移住定住相談会参加者数(年間: 人)【宮古市ブース来訪者】	13	4	△ 52.9%	D	30

評価: A·・・・目標達成 B・・・・20%以上100%未満 C・・・・0%以上20%未満 D・・・・0%未満 (マイナス値)

移住・定	住に関する基本	本事業									
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6				
	移住者向けホー ムページアクセ	目標値	1	10,000	20,000	30,000	40,000	50,000			
	ス数 (年間) (件)	実績値	5, 704	18,065							
a)サーモンランドの魅力発信	【取組内容と評価】 移住者向けのページやSNS等により、宮古市の情報を発信。R2年 ホームページを全面をリニューアルしたことから、アクセス数が大幅 目標を達成した。今後は、アクセス数の維持に向け、コンテンツの更 あげることが必要。										
	移住定住相談会宮古市ブース来	目標値	_	30	30	30	30	30			
	訪者数(人)	実績値	55	4							
	移住定住相談会 全体参加者数	目標値	_	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000			
	(人)	実績値	1,636	-							
	【取組内容と評価】 移住相談会の開催や他団体の移住関連イベントへの出展を実施。R2年月は、コロナ禍の影響により各種移住関連イベントが中止及びオンラインになたことから、いずれも目標の達成には至らなかった。全体参加者数は、オンイン開催だったためカウントができなかった。今後は、集客力向上のため、原域エリアで連携した移住イベントの開催及び参加が必要。										
b) 移住者増加の促進	【議会からの意見・オンラインで参うコロナの状況次気のだから、オンラするべきである。 ・指標の対象が「ント以外の方法はを評価・検証する・事業構成として	加者をか 第ではの インでの ブース移住 こよきと考	後もオン 把握の手 訪者」「相 主者の。	ラインを『 段を講じ 目談会参 得、例えば	中心としがるか、よ 加者」と、 ば担い手	と事業構 り有効な イベントの 事業と移	成は考え別の指標のみである。 住者の関	られる 薬を検討 る。イベ 関係など			
	・事業構成として向けの事業を検	•		ク <i>ー</i> ンョ. 	ン、サテフ	71 トオン	1人など、 	外部者			

基本目標:【ひと】

子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標に対する評価

数値目標	策定時(H30)	R2実績	進捗度	評価	目標(R6)
25-39歳人口の未婚率(%)	(H27国勢調査) 42	(R2国勢調査) 45	△ 160.0%	D	37
子育て環境の満足度(点)	45.1	46. 2	7. 4%	С	60.0

評価: A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

分析

「子育て環境の満足度」は、コロナ禍の影響を受けながらも上昇した。待機児童はゼロを維持し、コロナ禍においても安定した利用実績となった子育て支援サービスもあった。このことから、子育て支援の取り組み及びその情報の周知が子育て環境の満足度向上に繋がったと推察する。引き続き子育て支援の取り組みと情報発信を行う必要がある。

なお、「10~40代の生涯学習環境に対する市民満足度」は、上昇している一方で、「仕事や地域活動などでの女性の活動のしやすさの市民満足度」と、「25~39歳までの女性人口」は減少した。このことから、子育て支援や生涯学習環境の充実と地域内での女性の満足度は連動しないことが分かる。したがって、子育て支援とは別に、女性が望むライフスタイルを実現できるような取り組みが必要である。

また、「高校2年生の宮古市への愛着度」も減少した。R2年度より市内の高校と連携し、生徒が地域を知る取り組みを始めている。小中学校においても、地域住民等と連携し、地域の伝統や歴史、災害に対する学びなどの学習を行っている。子どもの愛着度を向上させるためには、長期的かつ継続的な取り組みが必要である。したがって、引き続き学校、地域住民、地元企業、行政等が協力しながら、小中高それぞれの課程において、より積極的に働きかけを行っていく必要があると考える。

【議会からの意見】

・25-39歳人口の未婚率を下げるための分析をするべきである。

【市民推進委員会からの意見】

・「ひと」の定着が課題であると思われる。

(1) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる戦略

①出会い・結婚・出産・子育て支援の展開

KPI	策定時	(H30)	R2実	績	進捗度	評価	目標	(R6)
25-39歳までの女性人口(各年10月 1日住民基本台帳人口)(人)	(H29)	3, 386	(R1)	3, 016	目標△186に 対し、△370	D	(R5)	3, 200
合計特殊出生率(%) 【上段 岩手県保健統計(注1)】	(H29)	1. 62	(R1)	1.55	△ 58.3%	D	(R5)	1.74
【下段 参考值:厚労省統計(注2)】	(H20∼H24	(H26)) 1.58	(H25∼H29	(H31)) 1.59	_	_	【参	考値】

注1:毎年公表 注2:5年毎に公表

評価: A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

基本事業	に関する基本事	業							
坐作 ,尹木	指標名	I	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
	商工会議所会員数 (卸・小売・サービス	目標値	750	750	750	750	750	750	
	業)(人)	実績値	731	760					
	中心市街地への	目標値	15	15	15	15	15	15	
a) 魅力ある商業活動の推進【再掲】	新規創業者数 (件) 実績値 5 8								
	【取組内容と評価 事業所の経営 新規創業者に対 たものの、新規倉	支援を目 する情報	提供と創	業支援	と実施。会				
	補助金・奨励金	目標値	80	80	80	80	80	80	
	交付対象者数 (人)	実績値	66	63					
o) 雇用の促進	事業委託先における利用者数	目標値	550	550	550	550	550	550	
	(人)	実績値	554	456					
	【取組内容と評価 地元での安定的 練協会と宮古市	的な就業			助金・奨	品々なか		THE ATT AND	
	かったことから、、 れる。今後は、新 必要。	ニーズに	応じたサ	ービス内	:援。目標 容等の充	値はいず 実や周知	れも達成 ロが必要	えしな と思わ	
	かったことから、れる。今後は、新必要。 移住定住相談会	ニーズに	応じたサ	ービス内	:援。目標 容等の充	値はいず 実や周知	れも達成 ロが必要	えしな と思わ	
	かったことから、、 れる。今後は、新 必要。	ニーズに,規高卒者	応じたサ 骨の地元詞	ービス内 就職やU	援。目標容等の充・Iターンネ	値はいず 実や周知 者の増加・	*れも達成 日が必要。 への取り	えしな と思わ 組みも	
	かったことから、れる。今後は、新必要。 移住定住相談会 宮古市ブース来 訪者数(人) 移住定住相談会	ニーズに 規高卒者 目標値	応じたサ	ービス内 就職やU 30	援。目標容等の充・Iターンネ	値はいず 実や周知 者の増加・	*れも達成 日が必要。 への取り	えしな と思わ 組みも	
b) 移住者増加の促進【再掲】	かったことから、れる。今後は、新必要。 移住定住相談会 宮古市ブース来 訪者数(人)	ニーズに 規高卒者 目標値 実績値	応じたサ の地元 - 55	ービス内 就職やU 30 4	援。目標 容等の充 ・Iターン 30	値はいず 実や周知 者の増加 30	が必要の の取り 30	えしな と思わ 組みも 30	

出生数に関する基本事業										
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6		
	11週以下での妊	目標値	93.0	95.0	97.0	100.0	100.0	100.0		
	娠届出率(%)	実績値	93.2	94.6						
	3 成児健康診住 	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
a) 母子の健康づくりの推進		実績値	96.8	99.1						
	【取組内容と評価 適切な妊婦の係めに必要な健康 携を実施。目標係 引き続き取り組む	建康管理 診査等に 直はいずる	繋げるた ኂも下回	め、 市Hi	P等による	る周知や	医療機関	等と連		

	子育て支援拠点 事業年間利用組	目標値	9,500	9,500	9,500	10,000	10,000	10,000
		実績値	9, 272	3, 943				
	ホートセンター	目標値	400	360	360	360	360	360
ル フ在マナゼル州の方中【五相】		実績値	363	348				
d) 子育て支援体制の充実【再掲】	【取組内容と評価 子育て家庭向いの拠点を運営。こ 方、ファミリーサッ おいても子育でま サービスであるこ	けの相談 ロナ禍の ポートセン 家庭を支持)影響に。 ターの依 爰できる	より支援 対頼会員 サービス	処点の利 数は、微》 であった	 用者が大 咸に留ま・ こと、ニー	に減った。コロ った。コロ -ズに合っ	った。一 !ナ禍に

②働きながら子育てしやすいまちづくり

KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗度	評価	目標(R6)
待機児童数(各年3月現在) (人)	2	0	100.0%	Α	0
仕事や地域活動などでの女性の活動のしやすさの市民満足度(10~40代平均)(点)	47.1	46.3	△ 6.2%	D	60.0

評価: A···目標達成 B···20%以上100%未満 C···0%以上20%未満 D···0%未満 (マイナス値)

待機児重	童に関する基本	事業									
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6			
	待機児童数	目標値	0	0	0	0	0	0			
	(各年3月現 在) (人) 実績値 0 0										
a) 保育サービスの充実	【取組内容と評価】 安心して子育てができるよう保育施設等の保育サービスの充実を標値である待機児童数ゼロを維持した。							る。			
	学童の家利用者	目標値	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0			
	の法兄庭 (0/)	実績値	92.6	89.3							
	放課後子ども教 室利用者の満足	目標値	95.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0			
b)放課後児童の健全育成	度(%)	実績値	90.9	93.8							
	【取組内容と評価】 児童の健全育成のため、学童の家を開設。目標値はいずれも達成しなかったが、放課後子供教室利用者の満足度は、前年度より向上した。引き続き、保護者のニーズに応えながら運営していく必要がある。										
	勤労者等対策	目標値	15	15	15	15	15	15			
	事業の利用者 数(人)	実績値	8	4							
c)労働者の福祉の充実	【取組内容と評価】 労働者の福祉の充実のため、勤労者等対策事業(勤労者生活安定資労者教育資金、出稼ぎ互助会)を実施。出稼ぎ労働者の減少又は無届出稼ぎにより、出稼ぎ互助会への加入者が減少した。今後は、出稼ぎへの加入促進のほか、新規高卒者やU・Iターン者の取込みを念頭に、に対する働き方改革やワークライフバランス推進についての働きかけ、要がある。										

①未来へつなぐひとづくりの推進

KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗度	評価	目標(R6)
生涯学習環境に対する市民満足度 (10~40代平均) (点)	47.8	50. 1	18. 9%	С	60.0
高校2年生の宮古市への愛着度 (%)	(R1) 43.0 166/386(人)	(R2) 42.7 141/330(人)	△ 1.8%	D	60.0

評価: A···目標達成 B···20%以上100%未満 C···0%以上20%未満 D···0%未満 (マイナス値)

○ 対理基本事業に対する評価地域の特色や魅力]を知る機会に	関する基	本事業						
基本事業	指標名	i	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
	読書率	目標値	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0	
	(小学校) (%)	実績値	69.0	77.0					
	読書率	目標値	59.0	59.0	59.0	59.0	59.0	59.0	
	(中学校) (%)	実績値	55.0	59.0					
	児童生徒の自尊意識・ 規範意識調査結果(全	目標値	88.1	88.1	88.1	88. 1	88.1	88.1	
こく 典かたふを夸わ物奈の世生	国学力・学習状況調 査) 小学校(%)	実績値	83.4	-					
)豊かな心を育む教育の推進	児童生徒の自尊意識・ 規範意識調査結果(全	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
	国学力・学習状況調 査)中学校(%)	実績値	78.3	-					
	読書環境の整備のため、学校図書館支援員を配置。地域の伝統や歴史、5 害、国際、姉妹都市等との交流学習など、ふるさと宮古に誇りを持てるような 学習を実施。読書率は目標値を達成。特に小学校においては、大きく上回る 結果となった。子ども達のまちへの愛着度を高めるため、地域に関する学習 必要不可欠であることから、引き続き取り組みを進める必要がある。								
	コミュニティ・	目標値	0	50	75	100	100	100	
	スクール設置率 (%)	実績値	0	0					
b)教育環境の充実	【取組内容と評価】 学校が地域や子どもの実情に応じて主体的に創意工夫のある教育活動が展開できるよう、学校評議員制度から学校運営協議会(コミュニティスクール)制度への移行の準備を進めた。現在、仕組みづくり等の準備が進行していることから、目標値達成に向け、保護者や地域住民を巻き込み、継続して即組むことが必要。								
	農業体験の参加	目標値	90	90	90	90	90	90	
	者数(人)	実績値	77	47					
	学校給食食材供	目標値	30.0	40.0	45.0	50.0	50.0	50.0	
	給割合(%)	実績値	38.3	33.9					
c)地域農産物の消費拡大	【取組内容と評価】 児童生徒への地域農産物に対する意識啓発と学校給食での宮古市産農林 水産物の利用拡大のため、農業体験や学校給食食材への農産物供給を行っ ている。コロナ禍の影響により、イベント中止や参加者数の制限を行ったた め、農業体験の参加者数は目標値に達しなかった。また、学校給食への食材 供給割合も納入要件と供給量の兼ね合いにより減少している。								

生涯学習推進	進体制に関する	基本事	業					
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
	リーダーバンク 及び生涯学習ボ	目標値	320	181	183	185	187	189
	ランティア登録 者数(人)	実績値	177	178				
	リーダーバンク 及び生涯学習ボ ランティア登録	目標値	1600	406	414	422	430	439
a) 推進体制の充実	者の派遣延べ人数	実績値	368	258				
	【取組内容と評価 経験や知識を パンク登録者は プ等からの派遣 に向けて取り組む についてSNS等	すする指導 数増した。 要請が減 ごと共に、	ものの、こ 少したこ 市民の当	1ロナ禍 <i>0</i> とが要因 全習活動)影響で と思われ 等の支援	自主的に る。今後	学ぶ市月 も登録者	マグルー の増加
	コミュニティス クールにおける	目標値	_	3	6	11	11	11
	地域学校協働活 動導入数	実績値	_	0				
b) 学校・家庭・地域の連携と協働	【取組内容と評価 コミュニティスク 動により、幅広い 協働活動を推進 目標値達成に「動の実施校を増 成長を支えること	アールのF 地域住 した。 句け、コミ やし、学村	民や地域の ユニティ 交を核とし	の多様なスクール(団体等の の運営を)参画を迫 支える地	通じた地域 域学校が	或学校 協働活
	体育施設等利用 者数(人)	目標値	404,000	461,000	455,000	448,000	442,000	435,000
c)スポーツ環境の整備	【取組内容と評価計画的な施設のポーツへの対応が施設の改修につ	D改修やを推進。こ	小中学校 1ロナ禍 <i>0</i>	D影響に。	より、利用	者が目		
	各種大会等参加	目標値	6,608	8, 200	8, 100	7,900	7,800	7,700
d)活動機会の提供	者数(人) 【取組内容と評価オリンピック・パラ構築に取り組むと施。コロナ禍によかった。今後は、けてスポーツ合名	リンピッ と共に、各 り各種大 各種イベ	クを契機 ・種スポー ・会やイベ ント開催	-ツ教室の ントの延 のほか、)	D充実な 期など十 スポーツ(ど、活動t ·分な事弟	幾会の提 と展開が	供を実 できな

基本目標:【しごと】

地域に根ざした産業を振興し、生活を支える所得が得られる仕事を創出する

基本目標に対する評価

数値目標	策定時	(H30)	R2実	績	進捗度	評価	目標(R6)
	(H29) 市	277	(H30) 市	274			
	県	277	県	284		_	
市民一人当たりの分配所得(万円) 	国	319	国	320	△ 9.2%	D	国民所得
	国の値に 対する比率	0.868	国の値に 対する比率	0.856			
高校新卒者のうち就職希望者の管		44.0		48.9	18.8%	C	70
内就職率(%)	93/2	10(人)	86/1	76(人)	10.0%	C	10

評価: A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

分析

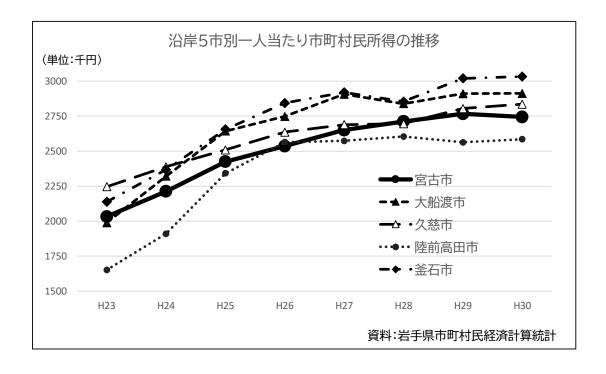
「市民一人当たりの分配所得」は、わずかに減少した。復興関連事業の減少のほか、市基幹産業を支える水産資源の減少なども影響したものと考えられる。地域産業全体では、今後もコロナ禍による多大な影響を受けることが予想される。水産業関係者の所得向上には、安定した水産資源の確保が必要である。現在、新たな魚類養殖の取り組みなどが進められており、持続的な水産資源の確保が期待される。

また、「高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率」は、上昇した。その一方で、コロナ禍の影響により企業の求人数が減少し、「宮古公共職業安定所における就職率」は下降した。これらの実績から分析すると、コロナ禍の影響により高校生に県外や市外への就職を控える傾向があったことと、これまで地元企業に対し高校新卒求人の確保を働きかけてきた結果、コロナ禍においても安定した求人を確保できたことが要因と推察される。

「一次産業新規就業者」は、いずれの分野においても増加した。特に水産業の増加が大きい。更なる担い手の確保を目指し、移住施策と連携したPRなど、多方面への周知が必要である。

【市民推進委員会からの意見】

・水産業について新たな戦略が必要ではないか。



沿岸市町村別一人当たり市町村民所得の推移 (単位:千円) H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 2,744 宮古市 2,033 2,213 2,425 2,536 2,651 2,712 2,767 2,321 2,748 2,906 2,839 2,913 大船渡市 1,989 2,643 2,911 2,246 2,636 2,689 2,805 2,836 久 慈 市 2,389 2,509 2,696 2,574 陸前高田市 1,652 1,910 2,342 2,564 2,605 2,563 2,585 2,368 2,844 2,920 3,033 釜石市 2,138 2,656 2,854 3,020 2,278 2,703 住 田 町 2,062 2,163 2,276 2,383 2,543 2,680 大 槌 町 1,278 1,508 1,912 2,333 2,541 2,593 2,726 2,858 1,640 2,208 2,510 2,569 2,523 山田 町 1,380 1,974 2,619 岩 泉 1,838 2,072 2,236 2,316 2,347 2,353 2,494 2,596 2,430 2,697 田野畑村 1,984 2,066 2,496 2,718 2,569 3,033 2,110 2,447 2,288 2,350 2,545 2,862 3,106 3,143 普 代 村 2,725 2,764 野田村 2,167 2,424 2,512 2,859 1,930 2,696

2,311

2,374

2,420

2,548

2,576

資料:岩手県市町村民経済計算統計

1,958

2,176

2,250

(1) 本州最東端から国内外に向けた産業振興戦略

①強い水産業の推進

洋 野 町

KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗度	評価	目標(R6)
魚市場水揚額(年間)(百万円)	6, 452	4, 888	△ 81.1%	D	8, 380
魚市場水揚量(年間)(t)	23, 540	21,683	△ 11.9%	D	39, 100
1 経営体あたりの漁業生産額(百 万円)	7.9 5,469/696体	(次回は、 R6年度に公表)	-	現時点で 評価困難	8.7 6,071/696体

評価: A····目標達成 B····20%以上100%未満 C···0%以上20%未満 D···0%未満 (マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価										
	水産業	に関する基本	業							
基本事業	自己評価	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		魚市場水揚量	目標値	26, 133	28, 726	31, 319	33, 912	36, 505	39, 100	
		(t)	実績値	18,973	21,683					
	養殖漁業生産量(t) 目標値 10,091 10,209 10,327 10,445 10,563 実績値 9,348 8,112 【取組内容と評価】 「つくり育てる漁業」の中心となる沿岸漁業の振興のため、養殖漁業生産や前浜資源の維持増大の取り組みを支援。不漁のため目標水揚成できなかった。また、養殖漁業生産量についても、一定量は確保でき	10,683								
a)生産の拡大			実績値	9,348	8, 112					
		「つくり育てる漁 生産や前浜資源	熊業」の中 の維持増 また、養殖	対の取り)組みをう	支援。不涉	援。不漁のため目標水揚量			
		漁協組合員	目標値	2,073	2,073	2,073	2, 073	2,073	2,073	
(人) 実績値 2,041 2,002										
b) 経営基盤の強化		【取組内容と評価 漁業経営体の紀 実施。依然として せ、経営体への紀	圣営基盤 、漁協組	合員は漏	ぬしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしょう しゅうし はんしょう しゅうしょう しょう はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ					

c) 担い手の確保・育成(水産業)	宮古市漁業担 い手確保対策 東護補助会就	目標値	6	6	6	6	6	30		
	事業補助金就 漁計画認定者 数	実績値	2	5						
	【取組内容と評価】 担い手確保のため、新規就業者への助成等を実施。認定者数は増加したものの、目標には達していない。市のHP等を利用し、支援制度のPRなどに力を入れる必要がある。									
	魚市場水揚額	目標値	5, 112, 000	5, 765, 600	6, 419, 200	7, 072, 800	7, 726, 400	8, 380, 000		
	(千円)	実績値	4, 970, 774	4, 887, 711						
d)流通加工体制の整備 L	【取組内容と評価】 宮古市魚市場の経営安定化と水揚量の増大のため、廻来船誘致活動やブランド戦略の支援などにを実施。海洋状況の変化等の要因により不漁のため目標水揚額は達成できなかった。									

②異業種連携による売れる商品づくりの推進

KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗度	評価	目標(R6)
製造業総生産額(年間)(百万 円)	18,900	18, 000	△ 81.8%	D	20,000
市が支援する商品等の新規成約件 数(年間)(件)	4	コロナ禍により 実施なし	1	現時点で 評価困難	5

評価: A····目標達成 B····20%以上100%未満 C····0%以上20%未満 D····0%未満 (マイナス値)

◎ 内定坐作事業に対する計画										
製造業	に関する基本	業								
(業員—人当たりの現金給与総額(万円)	R6									
		目標値	279	323	323	323	323	323		
		実績値	316	318						
		目標値	300	110	110	110	110	110		
a) モノづくりの環境整備		実績値	213	63						
	技術力強化のため、関係機関と協力し、人材育成を目的としたセミナー等を開催予定であった。コロナ禍の影響により、予定していたセミナー等が中止と									
		目標値	5	1	1	1	1	5		
)企業立地の推進		実績値	4	0						
1) A # + 11 A # 14 A		目標値	36	5	5	5	5	25		
b) 企業立地の推進 		実績値	24	0						
	【取組内容と評価】 既存企業の増設及び新規企業の誘致活動を実施。R2年度はコロナ禍の影響により誘致活動に制限があったことから、実績はなかった。									

販路拡大	大に関する基本	事業								
基本事業	指標名	l	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
	相談等の件数	目標値	_	660	660	660	660	660		
	(件)	実績値	616	338						
	セミナー・研修 等参加者数	目標値	200	160	160	160	160	160		
 a) 産業支援体制の充実	(人)	実績値	213	63						
	に、事業者の相話 中止。また一時的 にかけて、コロナ 展示商談会等に	りに相談例	牛数が減 る相談カ	少したも	のの、R2					
	出展した事業者数(件)	実績値		16	13	73	13	13		
	商品等の新規成	目標値		5	5	5	5	5		
b)食産業の支援	約件数(件)	実績値	7	_						
	【取組内容と評価】 展示商談会への出展支援やコンクールの実施による新商品の開発支援を 実施。R2年度は、コロナ禍の影響により多くの展示商談会への出展が中止。 コンクールの実施も取りやめた。									

①地域の特色を活かし稼げる産業の実現

KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗度	評価	目標(R6)
従業者1人当たりの売上金額(百 万円)	(H28) 15.3 91,165/5,965人	(次回は、 R5年度に公表)	l	現時点で 評価困難	16. 2
再生可能エネルギー導入容量(年間)(kw)	22, 616	79, 032	25. 5%	В	244, 000

評価: A····目標達成 B····20%以上100%未満 C····0%以上20%未満 D····0%未満 (マイナス値)

稼げる。	産業に関する基準	本事業								
基本事業	指標名	1	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
	従業員一人当た	目標値	279	323	323	323	323	323		
	額(万円)	実績値	316	318						
	セミナー、研修	目標値	300	110	110	110	110	110		
a) モノづくりの環境整備【再掲】	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実績値	213	63						
	技術力強化のため、関係機関と協力し、人材育成を目的としたセミナー等開催予定であった。コロナ禍の影響により、予定していたセミナー等が中止なり参加者数が減少した。									
	工場等の新設・	目標値	5	1	1	1	1	5		
	り を	実績値	4	0						
		目標値	36	5	5	5	5	25		
b) 企業立地の推進【再掲】		実績値	24	0						
	既存企業の増	設及び新						禍の影		
		目標値	_	660	660	660	660	660		
		目標値	200	160	160	160	160	160		
c)産業支援体制の充実【再掲】		実績値	213							
	人材育成や製 に、事業者の相 中止。また一時	品開発等 淡体制を 切に相談	構築。R2 牛数が減	年度はこ 少したも	ロナ禍の のの、R2	660 660 160 160 ご研修等を実施する。 ご影響によりセミナー 2年度の途中からR	一等が			
		目標値	45,000	82,000	82,000	82,000	82,000	244, 000		
		実績値	46,855	79,032						
		目標値	1,100	1,140	1,180	1, 220	1,260	1,300		
		実績値	1,132	1, 162						
d) 再生可能エネルギーの導入促進										

②人材の確保・育成支援

KPI	策定時(H30)	R2実績	進捗度	評価	目標(R6)
	8	18	19. 2%	С	60
 一次産業新規就業者(累計)	【内訳】				
(人)	(農業) 2	4	15.4%		15
	(林業) 1	3	14.3%		15
	(水産業) 5	11	24.0%		30
宮古公共職業安定所における就職	51.1	45.5	△ 62.9%	D	60.0
率(年間)(%)	2,183/4,275件	1,694/3,727件	△ 02.9%	D	00.0
就業者数(雇用保険被保険者数) (年間)(人)	18, 622	18, 074	△ 96.0%	D	18,600

評価: A····目標達成 B····20%以上100%未満 C····0%以上20%未満 D····0%未満 (マイナス値)

	連基本事業に対する評価								
	人材の確保・資	育成支援に関す	る基本	事業					
	基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
		認定農業者数	目標値	65	70	80	85	90	92
		(人)	実績値	65	53				
		新規就農者数:	目標値	2	2	3	3	3	3
		単年(人)	実績値	2	1				
a)	担い手の確保・育成(農業)	新規就農者数:	目標値	27	29	32	35	38	43
			実績値	27	28				
		農業の担い手間 就農についての る。今後は、市の	権保のため 相談は年 HP等に。	10件程度 はる支援	度あるが	就農に結	び付くの	は1~2件	であ
			目標値	3	3	3	3	3	3
a)	担い手の確保・育成(林業)	林業の担い手で 値を達成していた。	確保のたる ないことか	ら、今後	は、市の	HP等に	よる支援		
		宮古市漁業担い 手確保対策事業	目標値	6	6	6	6	6	30
		補助金修漁計画 認定者数	実績値	2	5				
a)	担い手の確保・育成(水産業)【再掲】	担い手確保のかのの、目標には通	ため、新規 をしていな						
		記定農業者数	4,000	4,000	4,000				
			実績値	4,606	4, 927				
b) #	経営基盤の強化	【取組内容と証価】							

	補助金・奨励金 交付対象者数	目標値	80	80	80	80	80	80	
	(人)	実績値	66	63					
	事業委託先にお	目標値	550	550	550	550	550	550	
) = m o /n/# / T -H1	ける利用者数 (人) 実績値 554 456								
c)雇用の促進【再掲】	練協会と宮古市かったことから、	りな就業 シルバー ニーズに	人材セン 志じたサ	ターを支 ービス内	援。目標 容等の充	奨励金を交付。宮古職標値はいずれも達成しの充実や周知が必要と思い者の増加への取り組み	えしな と思わ		
	勤労者等対策	目標値	15	15	15	15	15	15	
	事業の利用者 数(人)	実績値	8	4			3 13		
d)労働者の福祉の充実【再掲】	労者教育資金、日 出稼ぎにより、出 への加入促進の	の充実のだます。 出稼ぎ互は 稼ぎ互助 ほか、新	助会)を 対会への 規高卒者	実施。出程 加入者が やU・Iタ	家ぎ労働 減少した ーン者の	者の減少 。今後は 取込みを	又は無届 、出稼ぎ :念頭に、	届による 互助会 事業者	
	工場等の新設・ 増設等件数	目標値	5	1	1	1	1	5	
	(件)	実績値	4	0					
	工場等の新設増	目標値	36	5	5	5	5	25	
e)企業立地の推進【再掲】	設による従業員 数(人)	実績値	24	0					
	【取組内容と評価】 既存企業の増設及び新規企業の誘致活動を実施。R2年度はコロナ禍の影響により誘致活動に制限があったことから、実績はなかった。								